

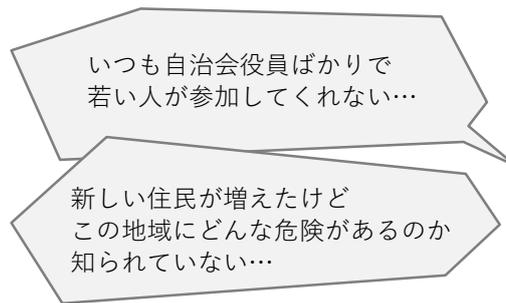
実効性の高い地域防災の取組みに向けて 地区防災計画の策定支援

地域では、従来から防災活動が取り組まれています。これらの活動が地域の災害リスクや社会状況を踏まえた課題に応じた取組となっていないケースや、活動内容がマンネリ化し参加主体が固定化され、形骸化しているケースもみられます。当社では、地区の状況に合わせ、住民の主体性を引き出す地区防災計画づくりを支援します。

◆地域の防災活動は災害時に機能する？



地域でさまざまな活動はしているけど…



◆地区防災計画とは？

「地区防災計画」とは、地区住民が、地域コミュニティの共助力向上のため自発的に行う防災活動に関する計画です。

東日本大震災の教訓を踏まえ、平成25年の災害対策基本法改正において新たに創設された制度によって、地区住民等が「地区防災計画（素案）」を作成し、市町村地域防災計画に地区防災計画を定めるよう、市町村防災会議に提案できるようになりました。

令和元年4月1日時点で、地区防災計画の策定に向けて全国3,028地区で取り組まれています。（令和2年版 内閣府「防災白書」より）

地区防災計画の特徴

地区防災計画の大きな特徴は自由度にあります。地区の特性にあわせて、地区の範囲、計画づくりの参加者、計画の内容も自由に設定できます。自由だからこそ、その地域に合った計画内容や進め方をどのように企画するかがポイントです。



マンションで計画を作るときのポイントは？

商店街がある街の災害時の課題は？



当社では、全国各地の多様な地区を支援した経験から、
地区の社会・災害特性等を踏まえて最適な進め方をご提案できます

モデル地区の地区防災計画策定支援

当社では、市区町村における地区防災計画の普及啓発を目的として、モデル地区の地区防災計画づくりを支援します。地区の既存の取組状況や災害リスク等を踏まえて、最も適切な進め方を企画し、ワークショップ等の運営や検討結果の整理、計画素案等の取りまとめを支援します。防災士等の地域防災リーダーの活躍・育成機会とすることも可能です。

地区防災計画づくりの流れ

<p>(1) 事前打合せの実施</p>	<p>関係者の顔合わせ及び概要説明、既存の取組状況等のヒアリング、参加を呼び掛ける主体や企画案検討のための事前打合せを実施します。</p>
<p>(2) 勉強会の企画・運営</p>	<p>地区防災計画の必要性や考え方、策定の流れ等を理解することを目的として、広く参加を募る勉強会を開催します。</p>
<p>(3) 計画づくりワークショップ等の企画・運営</p>	<p>ワークショップ等により地区防災計画づくりの検討を進めます。</p> <p>第1回ワークショップ「地域特性の確認」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域特性（自然特性、社会特性、災害特性）の確認 ・災害タイムラインの検討 <p>第2回ワークショップ「課題の調査」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の地域課題の整理 <p>防災まちあるきの実施</p> <p>第3回ワークショップ「対策の検討」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災まちあるきの結果をもとに地域課題に対する対策の検討 ・防災マップの作成 <p>第4回ワークショップ「とりまとめ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区防災計画の継続運用に向けたアクションプラン作成
<p>(4) 計画素案まとめ</p>	<p>検討結果を整理して、計画素案の取りまとめを支援します。 ※作成した計画素案を地区住民及び他地区に紹介する、成果報告会の開催も支援します。</p>

地区防災計画策定手引きの作成支援

当社ではモデル地区の地区防災計画づくりの成果や教訓をまとめ、他地区において住民が主体的に計画づくりを進めることができるような手引きの作成を支援します。地域の自治会や防災リーダー等が計画づくりの企画・運営を進められるよう、わかりやすく簡潔な手引きとテンプレート等を整理します。

その他、自主防災組織向け研修会の開催や、避難所運営マニュアルやマップづくり等の既存の施策成果をいかした計画づくりなどご要望に応じて検討します。ご相談ください。

